

■ 広島県道路整備計画2016の概要と取組成果

計画期間

平成28年度から令和2年度までの5年間

計画の体系

次の7つの施策の柱のもとに、道路を総合的にマネジメントする計画として策定しました。

| 7つの施策の柱 | 取組の方向性 |
|---------------------|--|
| ①広域的な交流・連携基盤の強化 | <ul style="list-style-type: none"> 企業活動を支える物流基盤の整備 グローバルゲートウェイ機能の強化 |
| ②集客・交流機能の強化 | <ul style="list-style-type: none"> 観光周遊を促す道路ネットワークの形成 |
| ③災害に強い道路ネットワークの構築 | <ul style="list-style-type: none"> 緊急輸送道路ネットワークの機能強化 災害対応能力の向上に資する多重型道路ネットワークの形成 |
| ④総合的な交通安全対策の推進 | <ul style="list-style-type: none"> 通学路における交通安全対策の推進 交通事故危険箇所の対策 |
| ⑤持続可能なまちづくりに資する道路整備 | <ul style="list-style-type: none"> 渋滞を緩和する道路の整備と市街地を一体化する鉄道との立体交差化 豊かな地域づくりを支える道路の整備 |
| ⑥道路機能の有効利用 | <ul style="list-style-type: none"> スマートICの整備等による高速道路の有効活用 しまなみを核としたサイクリングネットワークの形成とサイクリストの受入環境向上 |
| ⑦道路施設の適正な維持管理 | <ul style="list-style-type: none"> 道路施設の日常的な維持管理の適切な実施 道路施設の戦略的な維持管理の推進 |

事業実施箇所の進捗状況

●国直轄事業

計画期間内の完成箇所については以下のとおりです。事業中の箇所のうち、東広島・呉道路（阿賀1C立体化）は令和3年度、国道2号東広島・安芸バイパスは令和4年度、国道183号鍵掛峠道路は令和7年度の開通見通しが公表されており、その他の箇所についても順調に進捗しています。

計画期間内の完成箇所：中国横断自動車道尾道松江線 付加車線の整備（尾道北IC～世羅IC）、国道2号松永道路、木原道路、栄橋、国道185号休山改良

●県事業

【箇所数】

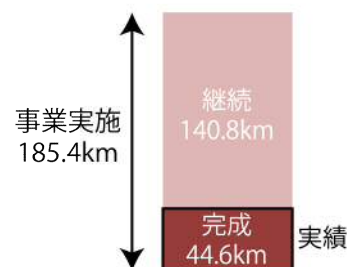
計画期間内に494箇所を実施し、317箇所が完成しています。

(単位：箇所)

| 区分 | | 実施箇所 (H28～R2) | 完成箇所 (H28～R2) |
|-----|-------|------------------|------------------|
| 改築系 | 街路・道路 | 158 | 45 |
| | 交通安全 | 96 | 37 |
| | 計 | 254 | 82 |
| 補修系 | 耐震補強 | 24 | 19 |
| | 法面对策 | 216 | 216 |
| | 計 | 240 | 235 |
| 合計 | | 494 | 317 |

【延長（道路改良・街路）】

道路改良・街路事業については、計画期間内に約185kmの事業を実施し、約45kmが完成しています。



用語説明

グローバルゲートウェイ…世界各国と多方面、多頻度の航空路線・航路で結ばれた国際的な規模と機能を有した競争力の高い拠点となる空港・港湾。

多重型道路ネットワーク…大規模災害等により道路が寸断された場合でも、社会・経済活動への影響を最小限にとどめるよう代替経路の確保を目的とした道路ネットワーク。

スマートインターチェンジ(スマートIC)…高速道路の本線やサービスエリア、パーキングエリア、バスストップから乗り降りができるように設置されるICであり、通行可能な車両(料金の支払い方法)を、ETCを搭載した車両に限定しているIC。

施策の進捗状況

成果目標の16指標について進捗を図りました。

| 施策の柱 | 指標 | 計画策定時 | 現状値(R2) | 主な完成箇所・取組 | 整備効果等 |
|--------------------|---|---------------|-----------|--|--|
| 広域的な交流・連携基盤の強化 | ①1人当たりの年間渋滞損失時間 | 45時間(H24) | 41時間 | 国道2号〔松永道路・木原道路〕 国道185号〔休山改良〕 (主) 矢野安浦線 (一) 三原本郷線 | ■主要渋滞箇所 〔H24：96箇所→ R2：89箇所〕 |
| | ②広島空港利用者数 | 271.9万人(H26) | 297.4万人※ | | |
| 集客・交流機能の強化 | ③総観光客数 | 6,181万人(H26) | 6,719万人※ | 国道375号 国道487号 (主) 福山尾道線 (都) 忠海中央線 (一) 御幸松永線 (都) 山手赤坂線 | ■空港アクセス強化に係る山陽道の渋滞発生時の迂回ルート 〔新規認可 (主) 矢野安浦線〕 |
| | ④観光消費額 | 3,610億円(H26) | 4,410億円※ | | |
| | ⑤観光客の満足度 | 66.4%(H26) | 73%※ | | |
| 災害に強い道路ネットワークの構築 | ⑥緊急輸送道路の橋梁耐震化率 (地震により落橋・倒壊が発生しないレベルの対策) | 79.6%(H27) | 82.3% | 国道375号〔日山橋〕 (一) 乙瀬小方線〔新町陸橋〕 | ■観光周遊ルートに該当する完成箇所における走行性向上 〔改良前33.3km/h→改良後53.1km/h〕 |
| | ⑦法面災害防除対策箇所数 (H25年及びH27の点検により対策が必要とされた550箇所) | 14箇所(3%) | 230箇所 | 国道182号 国道191号 (主) 三原東城線 (主) 安芸津下三永線 | |
| 総合的な交通安全対策の推進 | ⑧通学路交通安全プログラムの基づく危険箇所の歩道設置箇所数 (全体116箇所) | 5箇所(H27) | 35箇所 | 国道2号 (主) 世羅甲田線 (主) 吉田邑南線 (主) 大崎上島循環線 | ■緊急輸送道路における防災対策済延長 〔H27：425.2km→R2：454.5km〕 |
| | ⑨県管理道路の事故危険箇所の対策率 (全体90箇所) | 68%(H27) | 94.4% | 国道2号 (主) 江田島大柿線 | |
| 持続可能なまちづくりに資する道路整備 | ⑩広島県における自動車CO ₂ 排出量 | 4,464千トン(H27) | 4,462千トン | 国道186号 国道313号 国道486号 (都) 駅前新庄線 | ■県内の事故発生件数 〔歩行者H27：1,150件→R元：745件〕 〔自転車H27：1,995件→R元：1,257件〕 |
| | ⑪現況1車線バス路線区間延長 (交通量500台/日以上) | 38.6km(H27) | 36.8km | (一) 虫道廿日市線 (一) 下千鳥小奴可停車場線 | |
| | ⑫合併設計画区間の改良済箇所 (全体443箇所) | 268箇所(H27) | 295箇所 | (主) 吉舎油木線 (主) 芸北大朝線 (一) 新市三次線 (一) 原田吉田線 | |
| 道路機能の有効利用 | ⑬しまなみ海道サイクリング来訪客数 | 約25万人(H26) | 約38万人※ | しまなみ海道自転車道無料化 | ■ナショナルサイクルルートの指定 (しまなみ海道サイクリングロード) |
| | ⑭高速道路におけるIC及びスマートIC、地域活性化ICの設置間隔 | 10.0km(H27) | 9.4km | 大多田IC 福山SAスマートIC 沼田PAスマートIC | |
| 道路施設の適正な維持管理 | ⑮橋梁施設数に対する健全度Ⅰ、Ⅱの占める割合 | 87.9%(H26) | 92.8%(R2) | 国道183号〔鈎橋〕 国道433号〔式敷大橋〕 | - |
| | ⑯トンネル施設数に対する健全度Ⅰ、Ⅱの占める割合 | 68.8%(H26) | 100%(H30) | 国道186号〔飯谷トンネル〕 (主) 広島空港本郷線〔用倉トンネル〕 | |

※R1末の現状値

緊急輸送道路…阪神・淡路大震災を教訓とし、地震直後から発生する緊急輸送を円滑かつ確実に実施することを目的として、各都道府県において策定された『緊急輸送道路ネットワーク計画』の中で設定された路線で、役割に応じ、1次から3次までが設定されている。
合併設計画…合併後の市町の基本方針や公共施設の整備などについて定め、将来のビジョンや施策の方向性を示したものの。
主要渋滞箇所…交通の集中等により渋滞が発生している箇所。令和2年に県内で89箇所が選定されている。
ナショナルサイクルルート…サイクルツーリズムの推進に資する魅力的で安全なルートであることなど、一定の要件を満たすサイクリングルートを対象として自転車活用推進本部長により指定される。